

令和2年4月 13 日

美作市議会議員 岡本 泰介 様

会派名 英風会

経理責任者氏名 青山 慶

令和元年度政務活動費収支報告書について

美作市議会政務活動費の交付に関する条例(平成18年美作市条例第18号)第7条第1項の規定により、別紙のとおり、令和元年度政務活動費収支報告書を提出します。

令和元年度政務活動費収支報告書

会派名 英風会

1 収入

政務活動費 360,000 円

2 支出

項目	金額	備考
研究研修費		
調査旅費	76,400	
資料作成費		
資料購入費		
広報費		
広聴費		
人件費		
事務所費		
その他経費	42,780	
合計	119,180	

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記入のこと。

3 残金

240,820 円



(様式第14号)

使途項目別集計表

会派 (英風会)

※該当する使途項目に○

研究研修費 調査旅費 広報費 広聴費 その他経費

月日	内容等	金額 (円)
令和元年8月22日～24日	道の駅視察研修	76,400
令和 年 月 日		
令和 年 月 日		
令和 年 月 日		
令和 年 月 日		
令和 年 月 日		
令和 年 月 日		
令和 年 月 日		
令和 年 月 日		
令和 年 月 日		
令和 年 月 日		
令和 年 月 日		
令和 年 月 日		
合計		76,400

(様式第1号)

政務活動記録

会派 (英風会)

活動年月日	令和元年8月22日 ~ 令和元年8月24日
場所	道の駅・田園プラザ川場、道の駅ハッ場ふるさと館、富岡製糸工場
相手方(対象者)	■■■■ (川場)、■■■■ (ハッ場)、■■■■ 総務担当 (ハッ場)
活動議員氏名	鈴木悦子、日笠一成、山本雅彦、尾高誉久、金谷のり子、青山慶
目的・内容 結果等	旧もうもう工房跡地の利活用のための視察研修。 美作市の位置と似通った(都市部から車で2時間程度の中山間地)、道の駅・田園プラザ川場、道の駅・ハッ場ふるさと館を視察した。 郊外に展開する道の駅事業は、一定の面積が求められること、店舗としての面積や特産品への取組、様々な店舗の展開など、一種の街づくりとして取り組み、幅広い層の顧客に楽しんでいただけるような施設を目指していくことがポイントであると考えている。

上記活動に要した経費		
支出費目	内容	金額(円)
研修旅費	視察研修費	76,400
タクシー代		
宿泊費		
	合計	76,400

添付書類 ※様式第10号(領収書貼付)

※様式第13号(他会派と合同で活動し、按分した経費がある場合)

※様式第14号(使途項目別集計表)

※資料等

請求書

2019年9月4日 発行

英風会 様

岡山県美作市小野2382-5
株式会社 のと香
代表取締役 三木正人
TEL 0868-76-7430
FAX 0868-76-7431
担当 [REDACTED]

出発地 美作市 目的地 群馬県

出発日時 R1.8.22

帰着日時 R1.8.24

金額 76,400 円

[内訳]

項 目	単 価	数 量	計	備 考
JR料金	42,420	1	42,420	$254,520 \div 6 = 42,420$
レンタカー料金(高速料金・燃料代含)	7,740	1	7,740	$46,440 \div 6 = 7,740$
宿泊料金(ホテルルートイン渋川)	10,300	1	10,300	
宿泊料金(高崎ワシントンホテル)	10,800	1	10,800	
研修費(田園プラザ川場・富岡製糸場)	4,840	1	4,840	川場3,000・製糸場1,840
旅行傷害保険	300	1	300	
			76,400	

お支払いは、弊社下記口座へお振り込み下さい。

お振込先 中国銀行 林野支店 普通 1428371

JA勝英 作東支店 普通 0010091

トマト銀行 林野支店 普通 5684811

(様式第10号)

領収書用貼付用紙

(記載事項が重ならないよう貼付)

会派 (英風会)

領 収 証

No. _____

英風会 様

2019年 10月 15日

・現金

・小切手

①振込

金額	¥ 76,400.-
----	------------

但し 視察研修費用として
上記の金額正に領収いたしました



内訳

税抜金額

消費税額等 (%)

株式会社

〒709-4203

香

2382-5

-7430

-7431



道の駅視察研修報告書

①

視察日程

令和元年 8 月 22 日～24 日

会派名 英風会 青山慶

この度の視察研修は、美作市として現在検討中の「旧もうもう工房」跡地について、どの様な利活用が考えられるか、その参考になるような研修を目的として、道の駅ランキング 30 に登録されている「道の駅・田園プラザ川場」（現在は 9 位だが、全国ランキング 1 位になったこともある）と同県内にある「道の駅・ハッ場ふるさと館」（全国ランキング 21 位）の 2 ヶ所を視察研修致しました。どちらの施設も県内陸部に位置し、美作市の位置に似通っており、参考になると考えたものです。

8 月 22 日

最初に、視察研修に訪問したのは、群馬県川場村にある、「田園プラザ川場」であります。法人名は「株式会社 田園プラザ川場」で、設立は 1993 年 4 月 1 日で道の駅としての登録は平成 8 年であった。なお、道の駅部分は川場村より指定管理を受けている。（川場村は昭和 46 年国より過疎指定を受け、そこから川場村の挑戦が始まったようです。その後、この「道の駅田園プラザ川場」そして川場村の努力の結果、平成 12 年に過疎指定の解除となった。現在の人口は 3,500 人程度と聞いている。）

川場村の農業+観光の集大成として、地場産品の振興、新規開発を担っている。

この施設の事業経過は別紙のとおりであるが、取分け世田谷区 5 大事業の一つとして、世田谷区民健康村事業の供用が大きかったと思われる。

また、平成 6 年（株）田園プラザ川場発足以来、ミルク工房、ミート工房、ファーマーズマーケット、公衆トイレ設置。そして平成 8 年に道の駅登録後は、そば処、ビール工房、パン工房、レストラン、物産館、ブルーベリー館、お食事処、宿泊施設 SL 列車業務開始、SL 運行業務、ピザ工房、川場の森ウェディングサロン、花工房、ビジターセンターの開設、クレープ&カフェ営業開始、プレミアムショップ・雪彩庵開始、カワバ・ルーフ・ザ・ダイナー営業開始等々、実に多彩な事業を展開している。事業開始の頃より、「リンゴオーナー制度」そして、

②

世田谷区内にアンテナショップを開設（世田谷区内の酒屋さんがショップになってくれたとの事）など村の外から事業展開をしていった。

ゴルフ場の設置は村の条例により不可能とした。これは川場村の基本路線である、「農業+観光」に重点を置いたものであった。

顧客としては、埼玉県、東京都、神奈川県、などから年間180万人、うち7割がリピーターとのことであった。

基本的に出品者は村内限定であるが、村内に品がない時は村外から1年更新で取り扱っている。

全体的評価としては、数多くの店舗の展開により、家族連れや団体、個人などがそれぞれに楽しめる施設となっていて、1日中施設で楽しむことも出来る。この事と、世田谷区民健康村としての利用や、近隣、特に大都市圏からの誘客が事業を発展可能としている。

従業員教育も出来ており、楽しそうに仕事をしていたことが、印象的であった。

8月23日

この日は、群馬県長野原町の「道の駅ハッ場ふるさと館」を訪問し、
から説明を受けました。

この施設は平成25年4月27日にオープンされております。ハッ場ダムは2009年～2011年当時、民主党政権時代には、「コンクリートから人へ」のスローガンのもと事業は一旦中止となり、論議を呼んだところでもあります。

ただし元々、ダム計画は昭和27年頃からあったようです。

この施設は国交省のハッ場ダム建設事業により水没する地域の生活再建と地域振興を目的とし、ダムの受益者となる利根川流域1都5県が設立した「利根川、荒川水源地域対策基金」を活用して長野原町が整備し、水没地域の1つである長野原町林地区の住民によって設立された「(株)ハッ場ふるさと館」が町から指定管理制度による指定を受けて管理・運営を行っています。

でそれぞれ下記のようになっている。

A棟—情報・休憩コーナー ハッ場食堂 テナントレストラン 会議室(2F)外

売店。

③

B棟—ハッ場市場（農産物直売所） トイレ 事務所

C棟—Yショップ（コンビニ） トイレ

外売店、足湯、駐車場、普通車186台、大型車9台、福祉車両3台
以上が施設の概要です。

ハッ場市場販売品—高原野菜（キャベツ、トウモロコシ、レタス） トマト、リンゴ、

お土産コーナー —特産品の「塩あま納豆花豆」、お刺身（こんにゃく）、

ハッ場食堂—ハッ場ダムカレー、おつみ団子

外売店—ソフトクリーム、焼きまんじゅう

Yショップ—焼きたてパン、ハッ場ダムカレーパン他、豆大福、

以上が一押しの商品という事でした。

イベントとしては 元旦祭、創業祭、収穫祭で現在「ガイドツアー」としてハッ場ダム周辺ガイドツアーを行っている。尚、ダム完成後は水陸両用自動車、観光遊覧船などを計画されていた。

※ [REDACTED]

※ [REDACTED]

[REDACTED]

※ [REDACTED]

※ [REDACTED]

※ [REDACTED]

※ [REDACTED]

※ [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

施設の運営については事務局と組合員とで協議をしている。（食堂のメニューについても）

この施設の研修についても、[REDACTED] のリーダーシップと [REDACTED] のきめ細かな運営が目につきました。ダムに沈む地域がある中で必死に地域の活性化を目指している姿には教えられるものがあった。

研修後は篠原社長自らの案内で建設完了間近のダム建設現場を案内して下さり、

二重の研修となった。

※ この、2ヶ所の道の駅を視察研修して思ったことは、郊外に展開する道の駅事業は一定の面積が求められること、そして、店舗としての面積や特産品への取組、様々な店舗の展開など、一種の街づくりとして取組、幅広い層の顧客に楽しんでいただけるような施設を目指していくことが、ポイントであると思いました。

※ 美作市に置き換えてみると、現在の「特産館みまさか・彩菜茶屋」は毎年一定の利益は確保しているが（毎年、市からの補助金が交付されるとして）

今後の発展を考えると新しい場所での事業展開も視野にいて、検討していくべきである。道の駅事業を一つの街づくりと考えてみれば良いのではないか。

24日は、世界遺産に登録されてから5年目になる、富岡市にある「世界遺産 富岡製糸場」を訪問しました。

この施設は明治3年富岡を建設地とする契約がフランス人の「ポール・ブリュナ」(設立指導者)と結ばれ、明治5年に完成しました。当時はこの製糸場で働く女工さんたちはフランス人を怖がっていたそうです。その為初代製糸場長の尾高惇忠は娘の勇(当時14歳)を女工第1号として入場させたようです。この製糸場が稼働を始め、女工たちが仕事に慣れてくると給料が月額1円50銭くらいになったようで、当時の他の業種の2~3倍の給料であった。しかも全寮制で食事も朝、昼、晩、とあり人気が増していたようで、この製糸場に勤務することが当時の女性達にとって憧れであったようである。

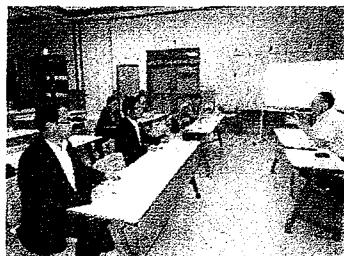
明治26年三井富岡製糸場(三井家に払下げ)となり、昭和14年片倉富岡製糸所(片倉製糸紡績株式会社と合併)となり、昭和52年の操業停止となるまで、115年間の歴史を刻みました。平成17年国指定史跡となり、片倉工業(株)が全ての建造物を富岡市に寄贈した。そして、平成26年世界遺産一覧表に記載されたのである。(尚余談であるが、この片倉製糸紡績(株)は昭和20~40年あたりまで、現在の美作市江見地内に工場があり当時は若い女工さんたちが多く勤務されていたという事です)

場内をガイドの説明により、研修していると、当時の様子が目に浮かぶようであった。近代日本の幕開けと共にこの製糸場が日本の製糸産業に果たした役割は非常に大きかったと思われる。

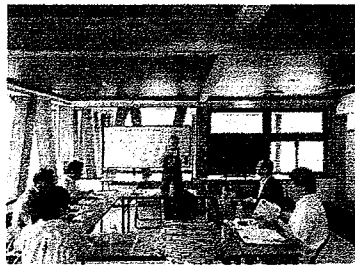
以上この度の視察研修の報告書と致します。

道の駅視察研修記録（令和元年8月22日～24日）

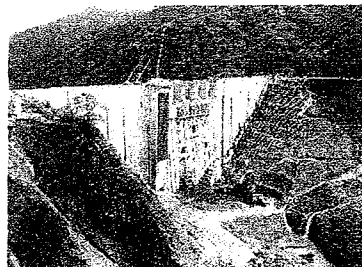
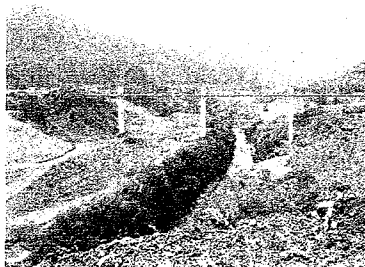
視察場所（群馬県、川場村及び長野原町）



道の駅・田園プラザ川場で、XXXXXXXXXXの講師による研修



道の駅・ハッ場ふるさと館、XXXXXXXXXXによる研修



XXXXXXXXXXの案内により、ハッ場ダム建設現場へ（明年3月完成し運用開始されます）



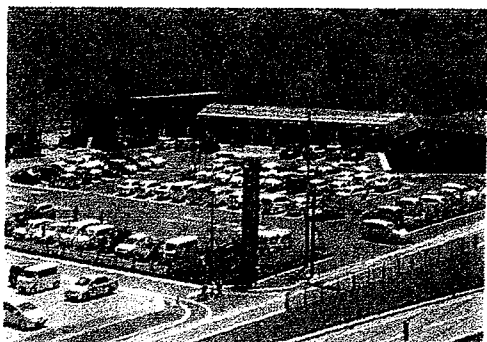
世界遺産・富岡製糸場にて研修



あの記事は今 No.5

道の駅ハッ場ふるさと館の地域活性化の取り組み

株式会社ハッ場ふるさと館



道の駅ハッ場ふるさと館 全景

道の駅ハッ場ふるさと館は平成25年4月27日、長野原町林地区の国道145号ハッ場バイパス沿いに、国土交通省のハッ場ダム建設事業により水没する地域の生活再建と地域振興を目的とし、「利根川・荒川水源地域対策基金」を活用して長野原町により整備され、水没地域の一つである長野原町林地区の住民を中心とした73名の株主、出資金2,400万円の全くの民間資本による「株式会社ハッ場ふるさと館」が、町からの指定管理者制度による指定を受けて、オープンしました。

地域の皆様をはじめ、長野原町、群馬県そしてハッ場ダム工事事務所等々のご支援ご協力を頂いたことにより、当初計画を上回る営業成績を確保しながら4年間を運営する事が出来ましたことにつきまして、

ご来店頂きましたお客様はじめ、地域並びに関係団体の皆様に心より御礼申し上げます。



ハッ場市場

年間の入れ込み客数（レジ通過客数）

	H25.4~ 26.3	H26.4~ 27.3	H27.4~ 28.3	H28.4~ 29.3
レジ通過客数	306,462人	391,614人	406,164人	421,259人
伸び率	24万人円込む	27.79%	3.72%	3.72%

※今年度（H28.4・29.3）の同指標に対して伸び率は9.98%

当駅が地域の皆様にご協力、ご参加頂きながら取り組んでおります事業についてご紹介します。

地域の農産物・加工品を取り扱っております「農産物直売所」では、生産者が出荷組合を作り、出荷等に係る取決め等を定め自主運営をして頂いており、現在約150名の皆様が出荷をしております。売値は出品者に委ねられ、地元への経済効果は非常に大きなものがあります。

次に、恵まれた自然環境を活用しました「ハッ場ふるさとエコツアー」（吾妻渓谷新緑及び紅葉エコツアー、猿蓑ホテル観賞エコツアー、王城山エコツアーそしてミステリー紅葉エコツアー等）は、地域住民の有志の方々により、牧道や溝流の整備・草刈等を行い、そしてガイド案内を行っており、年平均約100名の参加者に喜んで頂いております。

また、ハッ場ダムが当駅より東方面に約2.5km下流の巻斐川で建設中です。当駅開業以来多くのお客様から「ハッ場ダムはどこですか？」「工事現場は見られますか？」とのお声がありました。そこで、地元住民の方々にご協力をお願いし、地域住民が長い経緯の中で体験し感じた気持ちも交えながら、ハッ場ダム工事で設置された様々な施設・構造物、そして平成32年3月完成を目指して工事中のハッ場ダム本体を、地域住民の声でガイド案内しております。



ハッ場ダムツアー

当社が行ったハッ場ダムガイドツアー参加者の推移

	H27.4~28.3	H28.4~29.3	H29.4~30.1
ツアー参加数	1,024人	1,450人	4,474人
伸び率		41.60%	208.55%



足湯と不動大橋

以上3件の事業は、いずれもご参加頂いたお客様のご満足そうな笑顔、そして保って頂いた地域住民の皆様の誇らしげな笑顔が印象的でありました。

「まだまだ本当に真の価値ある商品の提供、真心の有るおもてなし」は、とてとても出来てはおりませんが、地域住民の方々と社員一同手を取り合い目指したいと願っております。



タイトル「道の駅ハッ場ふるさと館の開業にあたって」

(株) ハッ場ふるさと館

1. はじめに

本年4月27日、長野原町林地区の国道145号ハッ場バイパス沿いに、道の駅「ハッ場ふるさと館」がオープンしました。この施設は、国土交通省のハッ場ダム建設事業により水没する地域の生活再建と地域振興を目的とし、ダムの受益者となる利根川流域1都5県が設立した「利根川・荒川水源地域対策基金」を活用して長野原町が整備したものであり、水没地域の一つである長野原町林地区の住民によって設立した弊社が、町から指定管理者制度による指定を受けて管理・運営を行っております。

2. 施設の概要

約7,000㎡の敷地面積の中に、直売所や直営食堂、テナントレストラン、コンビニエンスストア、情報コーナー、足湯、多目的室などが整備されており、トイレや公衆電話、駐車場は24時間利用することができます。

直売所「ハッ場市場」では、地域の新鮮な農産物や加工食品のほか、吾妻地域の特産品や土産品などを中心に販売しています。長野原町や近隣町村から広く出品希望者を募って直売所利用組合を設立し、地域の魅力をPRする市場として多くの方に参加して頂いております。

直営食堂では、郷土料理である汁物「ハッ場おつみ団子」やハッ場ダム本体の模型を容器に使用したダムマニア必食「ハッ場ダムカレー」などメニューに工夫を凝らしています。また隣接するテナント「旬菜レストランほたる」とあわせて新鮮な地元野菜を使用したメニューの提供にも力を入れております。

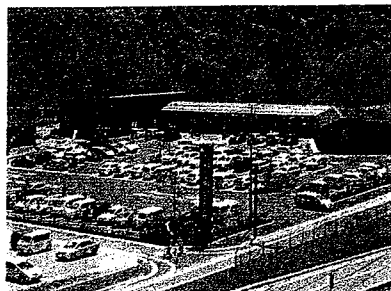
この他、オリジナルの焼きたてパンを販売するコンビニエンスストア「Yショップ」や林地区の「かたくりの湯」源泉掛け流しの足湯を設けるなど、吾妻地域に訪れた方々がゆっくりと休憩できる施設となっています。

3. これまでの経緯

この道の駅構想は平成19年度から本格的な検討がスタートしました。ダム完成によって水没してしまう地域の再生と振興のために我々住民がどのような施設を目指すのか、将来にわたる地域活性のために何が必要なのかを地区で真剣に議論しました。長野原町や県、国交省の担当者との意見交換や先進事例の視察などを行い、また経営コンサルタントによる専門家のアドバイスを何度も受けながら、施設の運営、会社経営についての課題などを関係者で共有し、建設に向けて一步一步進めてきました。平成23年度からは建物の設計と併せて、会社の設立や直売所の利用組合員確保、名物となるメニューづくりなど、限られた時間の中でたくさんの方を決めなくてはならずとても苦労しました。しかし水没地区で最初の振興施設であり、他の見本や住民皆さんの励みになるよう、絶対に成功させるんだという気持ちで一先懸命取り組んで参りました。

4. 今後の取り組み

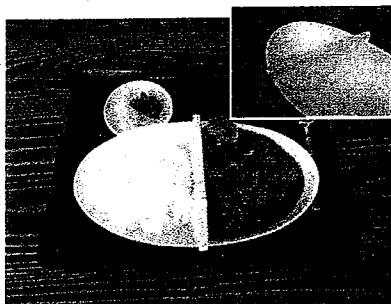
オープンからいきなりゴールデンウィーク突入ということもあり、当初から大勢の方にご来場頂いております。道の駅を目的に遠方から来られる方も多く、予想以上のスタートとなりました。社員・スタッフ一同慣れない中で連日奮闘しております。開業当初は十分な接客、対応が出来ず、苦情もた



にぎわう道の駅「ハッ場ふるさと館」



新鮮野菜や特産品が並ぶ直売所「ハッ場市場」



マニア必食!「ハッ場ダムカレー」



食堂のメニュー検討会議

くさん頂きましたが、皆様からの期待の表れと受け止め、日々改善に努めてまいります。

道の駅の周りはずばらしい自然に囲まれており、四季を通じて様々な景色を楽しむことができます。ここに車を止め、近くの不動大橋を散策しながら吾妻川の渓谷や丸岩、不動滝を望む景色を楽しむ方が多くいらっしゃいます。ダムが完成するとすぐ目の前に湖が広がり、足湯に浸かりながらゆっくり眺めることができます。

「ハッ場ふるさと館」は無事にスタートしましたが、これからが生活再建の本番だと気を引き締めてまいります。この施設を拠点とし、他の水没地区と連携して地域の活性化につなげられるよう、みんなで様々なアイデアを出し合って発展させていきたいと思っております。是非長野原町にお越しの際は、道の駅「ハッ場ふるさと館」にお立ち寄りくださいませ。社員一同心よりお待ちしております。

【営業時間】

- ・ハッ場市場（直売所）、直営食堂、足湯、 9：00～18：00
情報コーナー
- ・旬菜レストランほたる 9：00～21：00
- ・コンビニエンスストア（Yショップ） 7：00～20：00

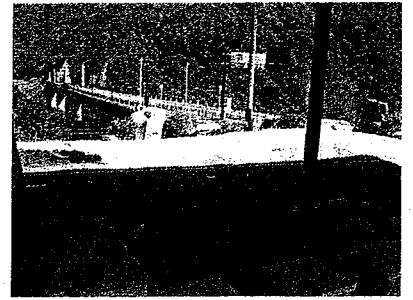
【アクセス】

関越自動車道 渋川伊香保ICより約60分

所在地：群馬県吾妻郡長野原町大字林 1567-4

TEL：0279-83-8088

ハッ場ふるさと館ホームページ <http://yambamichinoeki.com/>



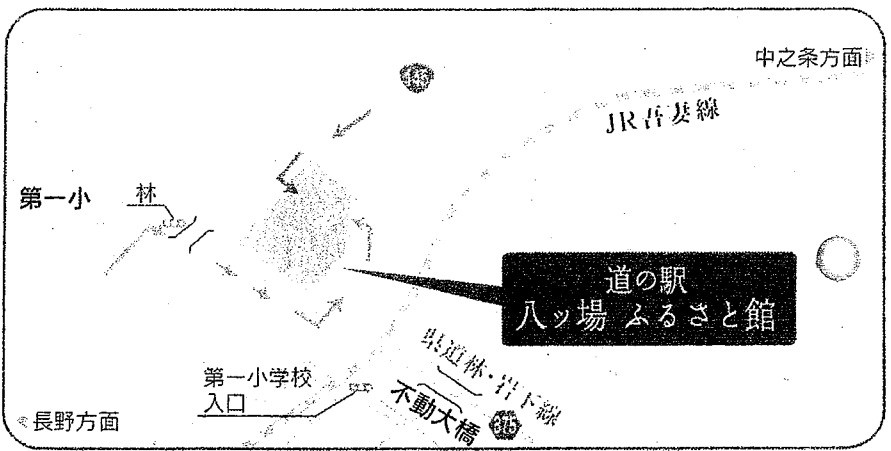
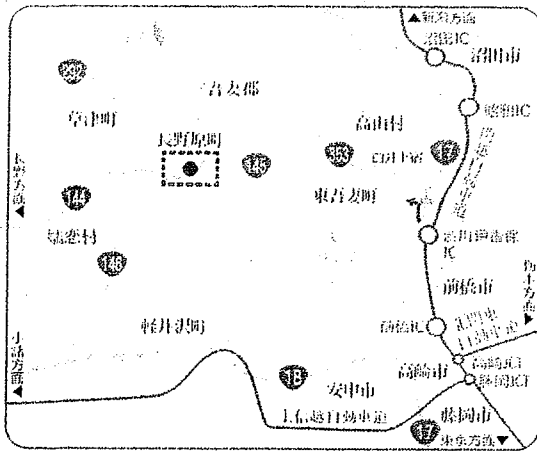
足湯からの景色と不動大橋



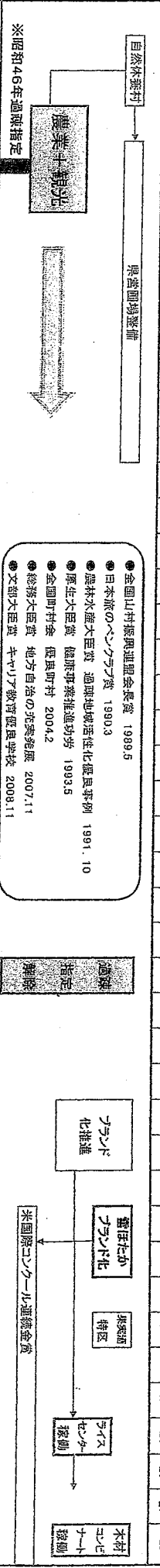
不動大橋から望む吾妻川と奇峰「丸岩」



ハッ場ダムや地域の情報を発信する情報コーナー

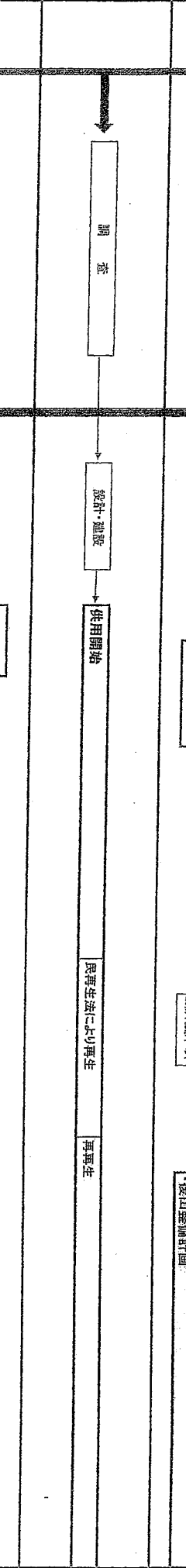
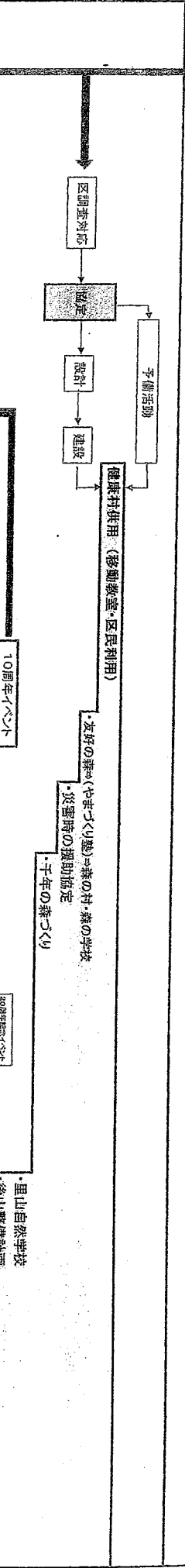


1950年代	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
昭和40年代	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28												



第1次拠点整備	第2次拠点整備	第3次拠点整備	第4次拠点整備	第5次拠点整備	第6次拠点整備	第7次拠点整備
SL列車ホテル 管理センター レストラン	担い手センター スポーツ広場 (バス・ターミナル・ラーニング)	温泉館 中央公園 歴史民俗資料館	かたがるべ つくるべ やすらぎ 太陽の家	文化会館 交流公園 清流公園 交流歩道	武道館	体験学習館 (中丸稲穂の整備)

D51
 自立
 走行
 開始
 田園クラサキ事業委託
 ホールリニューアル



関係者など道の駅5年連続第1位 (2004~2008)
● 日本経済新聞社発表「道の駅ランキング」東日本第1位
● 読売新聞主催「関東道の駅ランキング」東日本第1位
● 国土交通省「全国道の駅」全国モデル選定(2014)
● 平野/回観光長官書表彰(2015)
● トリップアドバイザー・エグゼクティブ賞(2015)、道の駅全国口コミランキング第5位(2016)
● 群馬県優良企業、商業・サービス部門大賞(2016)

農林業 豊田 川場 田園クラサキ 世田谷区民健康村事業 SL周辺整備事業

(様式第14号)

使途項目別集計表

会派 (英風会)

※該当する使途項目に○

研究研修費 調査旅費 広報費 広聴費 その他経費

月日	内容等	金額 (円)
令和2年1月27日～28日	防衛省への要望活動	42,780
令和 年 月 日		
令和 年 月 日		
令和 年 月 日		
令和 年 月 日		
令和 年 月 日		
令和 年 月 日		
令和 年 月 日		
令和 年 月 日		
令和 年 月 日		
令和 年 月 日		
令和 年 月 日		
令和 年 月 日		
令和 年 月 日		
合計		42,780

(様式第1号)

政務活動記録

会派 (英風会)

活動年月日	令和2年1月27日 ~ 令和2年1月28日
場所	防衛省
相手方 (対象者)	事務次官 高橋 憲一、人事教育局長 岡 真臣
活動議員氏名	鈴木悦子、日笠一成、尾高誉久、安藤功、金谷のり子、中山忠明、青山慶
目的・内容 結果等	平成27年に東京一極集中を是正するため、各地域の地域資源や産業事情等を踏まえ、地方における「しごと」と「ひと」の好循環を促進することを目的として、政府関係機関の地方移転を進めている中で、美作市としては今日まで自衛隊体育学校の移転に関する活動を行っている。 昨年、防衛省による誘致候補地 (美作市真加部) を視察の際、自衛隊体育学校といった限定的な誘致活動ではなく、他の自衛隊関連施設を視野に入れた誘致活動が必要であるとの助言をいただき、この度、高橋事務次官、岡人事教育局長に対し、自衛隊体育学校及び自衛隊輸送学校の誘致要望を行った。

上記活動に要した経費		
支出費目	内容	金額 (円)
研修旅費	航空費	32,080
タクシー代		
宿泊費	全国町村会館	10,700
合 計		42,780

添付書類 ※様式第10号 (領収書貼付)

※様式第13号 (他会派と合同で活動し、按分した経費がある場合)

※様式第14号 (使途項目別集計表)

※資料等

領収書

英風会

様

金額 **¥32,080-** (税込)
クレジット支払い
(消費税10%対象 ¥32,080- (税込))



航空券番号 1010271134606016 1010271134606020
照会番号 9BZLGP

但し 運賃および税金・料金等

航空券発行日 2020年01月24日(金)

上記、正に領収いたしました。

本紙は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。

ANA A STAR ALLIANCE MEMBER  
全日本空輸株式会社 All Nippon Airways Co.,Ltd.

航空券明細

ご搭乗者名/照会番号

アオヤマ ケイ様 (9BZLGP)

搭乗日	便名	区間	クラス	運賃	運賃額(税込)	運賃適用基準日
2020年01月27日(月)	ANA654	岡山 - 東京(羽田)	普通席	バリュー11	¥16,890-	2020年01月24日(金)
2020年01月29日(水)	ANA651	東京(羽田) - 岡山	普通席	バリュー11	¥15,190-	2020年01月24日(金)

合計金額

¥32,080-

スケジュール

1月27日 移動日

1月28日

9:30 ホテル発

10:00 防衛省着

10:30 面会開始

(様式第10号)

領収書用貼付用紙

(記載事項が重ならないよう貼付)

会派 (英風会)

領収書 Receipt

No. 202001280055 F
2020.04.13

英風会 様

¥10,700

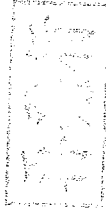
RECEIVED
英風会
YABUHI HONJO CARD
内消費税 Con. Tax ¥872
(標準税率 ¥9,600)
(軽減税率 ¥0)

上記正に領収致しました
但、クレジット分 ¥10,700 を含みます クレジット払い

全国町村会館

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-35

TEL 03-3581-0471 FAX 03-3580-0220



活動の概要

英風会 青山 慶

【日 時】

令和2年1月28日(火) 10:30～

【事 項】

「防衛省への要望活動」

【場 所】

防衛省(東京都新宿区市谷本村町)

【対応者】

防衛省 事務次官 高橋 憲一 氏

防衛省 人事教育局長 岡 真臣 氏

(同席)

防衛省 人事教育局人材育成課 班長 清水 聡史 氏

防衛省 人事教育局人材育成課 専門官 仲原 隆 氏

【内 容】

平成27年に東京一極集中を是正するため、各地域の地域資源や産業事情等を踏まえ、地方における「しごと」と「ひと」の好循環を促進することを目的として、政府関係機関の地方移転を進めている中で、美作市としては今日まで自衛隊体育学校の移転に関する活動を行っている。

平成28年度に一部移転として自衛隊体育学校の女子ラグビーの合宿が実現し、続いて陸上競歩、長距離と合宿が行われ、継続して毎年度実施されている。

また、昨年、防衛省による誘致候補地(美作市真加部)を視察の際、自衛隊体育学校といった限定的な誘致活動ではなく、他の自衛隊関連施設を視野に入れた誘致活動が必要であるとの助言をいただき、この度、高橋事務次官、岡人事教育局長に対し、自衛隊体育学校及び自衛隊輸送学校の誘致要望を行った。

防衛省からは、体育学校の合宿などの強化拡充という形で、いろんな提案をいただければ、それに応じた形で、相互に良い環境を続けさせていただきたいと思っている。

また、中部方面総監部(「陸上自衛隊の5个方面隊の一つで、東海、北陸、近畿、中四国地区2府19県の防衛警備や災害派遣等を担任。」兵庫県伊丹市)が全体の監督をしているので一度行かれてはどうか。また、中国四国防衛局(広島市)も行ってみたいかどうかとのアドバイスをいただいた。

施設の移転については、ハードルが高いと感じるが継続的に誘致要望活動を行っていく必要がある。